

## 令和5年度海外研修（台湾）研修報告

国際部 松本梨奈

台湾における海外研修は、本学の姉妹校である台湾・開南大学の主催で実施されました。初めて本学がこの開南大学の実施する語学文化研修に参加したのが2019年ですが、新型コロナウイルスの影響を大きく受けてしまい、昨年度はオンラインでの語学講座のみの実施となり、今回が対面としては2回目となる研修参加となりました。

今回、研修に参加した学生は、日本人学生が4名と、ベトナム出身の留学生が1名の、計5名でして、引率の私含め6名で行ってまいりました。

本研修は8月16日から30日までの約2週間の滞在期間の間、30時間の語学講義を受講しながら、台湾独自の文化を体験し、台湾のお寺や博物館、夜市など、様々な観光地を巡ってまいりました。

開南大学は台湾の首都である台北から電車で一時間ほどの距離にある桃園市という地域に位置しています。ちょうど桃園国際空港から車で30分ほどの距離です。研修が行われた期間はちょうど開南大学も夏休み期間でしたので、キャンパス内はとても静かでした。大学の周りには小さな飲食店や住宅街がぼつぼつと立ち並んでいて、街全体としても、繁華街というよりは、落ち着いた、のどかな町という印象でした。

今回の研修には開南大学の姉妹校から本学を含めて計51名の参加者が日本全国から来ておりました。参加者はそれぞれ少人数の班に分かれ、その班ごとに開南大学で日本語を学ぶ学生さんたちがチューターとして常にサポートに付いてくださり、授業で分からないことがあれば質問したり、自由行動の時間には学生各々が行きたい観光地までの引率を担当して下さったり、また今回全員開南大学の学生寮に宿泊しましたので、昼夜問わずチューターの方々にサポートしていただきました。

本学の学生は今回、台湾を訪れるのは全員が初めてで、5名のうち3名は生まれて初めての海外、ということもありまして、序盤はかなり緊張していたようです。ご存知の方も多いでしょうが、台湾は本当に新日の方が多く、我々が出会った方も心温かい方たちばかりでしたので、学生もすぐに台湾という国、台湾の方々が大好きになったようでした。

台湾に到着した次の日、早速開会式と歓迎会を開いていただき、初日からすぐに中国語・英語のクラスにそれぞれ分かれて、早速授業がスタートしました。

今回は中国語の初級クラスと上級クラス、英語の上級クラスの計3クラスに分かれて授業が行われまして、本学の学生はもともと中国語初級クラスに4名と、英語上級クラスに1名で参加の申請をしておりましたが、開南大学のご厚意で、語学講座のちょうど3日目にクラス替えのアンケートを取っていただきまして、実際に授業を受けてみた上で、希望すればクラスを移動しても良いとの対応を取っていただきましたので、中国語初級クラスを受けていた本学の学生3名がまず中国語の上級クラスに移動して、

よりステップアップした講義を受講することになり、英語上級クラスを受けていた 1 名は台湾に行っ  
なんと中国語も新たに興味が湧いたということで、中国語初級のクラスに移動して、基礎からしっ  
と授業を受けました。

どのクラスも非常に能動的な形で行われていまして、一人ひとり発音を細かくチェックしてもらいなが  
ら、丁寧に何度も教えていただきました。最初は、台湾の方々になかなか中国語が伝わらず、半泣きだ  
った学生たちも、次第に耳が慣れてきて、正しい発音を身に着けていくにつれて、買い物のときに値段  
の交渉を試みたり、台湾の友人と中国語でやり取りをしたりと、かなり積極的に活動をする様子が見  
受けられました。クラスを担当する先生方からも、本学の学生が積極的に答え、声を出して練習してい  
る姿を見て、受講態度が素晴らしいとお褒めの言葉もいただきました。

この語学クラスごとにチームを組んで、最終成果発表としてそれぞれ中国語の歌やダンス、劇が披露さ  
れたのですが、本学学生は 2 つのグループに分かれまして、中国語の歌を歌うグループと、歌とオリジ  
ナルの演劇を行うチームに分かれて、他大学の学生と共に練習に励みました。限られた時間の中で、夜  
遅くまで練習した成果もあり、なんと本学女子学生 3 人のグループは最優秀賞の表彰を受け、記念品ま  
でいただきました。

次に文化体験・観光について簡単にお話しさせていただきます。

文化体験として、3 つのバリエーション豊かな文化を体験してきました。まず一つ目に、台北で縁結び  
にゆかりのあるお寺を訪れまして、参拝・祈願の体験をして来ました。このお寺は 100 年以上の歴史が  
ありまして、月下老人など 600 を超える神様が祀られていまして、各自、神様へのお供え物と線香を手  
に持ち、自分の願い事を一生懸命唱えていました。その後には台湾で一つのランドマークとされている  
中正紀念堂を訪れました。中正紀念堂ではちょうど衛兵交代を見学することができました。実際に写真  
で見るとより大きかったようで、学生たちも圧倒されていました。

2 つ目に、台湾でのお茶文化について学んできました。桃園市にある、お茶の博物館を訪れまして、台  
湾各地で採れる茶葉の種類についての説明や歴史に関する説明などを受けた後、博物館の敷地内にある  
茶畑に移動して茶摘み体験をしました。学生たちは、次第に茶摘みに慣れてくると、「すごく楽しい！」  
と夢中になり、黙々とお茶の葉を摘んでいました。最後に、それぞれ好きな茶葉をブレンドさせてオリ  
ジナルのティーバッグ作り体験をしました。綺麗にラッピングしたティーバッグを台湾人と日本人の友  
達同士でそれぞれ交換している姿が何とも素敵でした。

3 つ目に、台湾といえば、のお菓子でパイナップルケーキがありますが、そのパイナップルケーキを作  
る体験までさせていただきました。

桃園市内の散策時間には、台湾の夜市を訪れたり、芸術エリアや書道美術館、アウトレットを散策した  
りしました。

大学全体での 1 日観光日には、十分と呼ばれる、ランタンに願い事を書いて空に飛ばすのが有名な町を  
訪れ、町の真ん中を走る観光鉄道の線路の上から、願いごとを書いたランタンに気持ちを込めて飛ばし  
ました。

他にも、スタジオジブリの「千と千尋の神隠し」という有名な映画がありますが、そのモチーフになったとも言われている「九份」という町も訪れました。かつて金鉱として栄えた九份ですが、山の急斜面にお店や飲食店が立ち並んでいて、とても活気ある観光地です。九份だけに限らず、台湾はちょうどこの期間非常に雨が降りやすい時期なのですが、我々が滞在した間はかなりの確率で晴れていまして、本当に運が良かったな、と言えます。

また、その他にも、台北 101 と呼ばれるランドマークタワーへ行き、小籠包が有名なディンタイフォンというレストランで台湾ならではの食事をいただいて、その後地上 101 階建ての展望エリアに上って台北市内を一望しました。

台北の国立故宮博物院も訪れまして、様々な展示を見て回りました。故宮博物院で最も有名と言われている翡翠で彫り上げられた白菜ですが、なんと我々が行った前の日に丁度別の会場から戻ってきたばかりだったようで、とてもラッキーでした。

自由時間を見つけて、台北にある孔子廟を訪れることも出来ました。開南大学からバスと電車、地下鉄を乗り継いで行きましたが、孔子廟に行くことを聞き、東京と広島から参加している学生さん 5 名も是非一緒に行きたい！と言ってくださり、開南大のチューター 1 名も合わせて計 12 名での小旅行となりました。

道中雨が降って、孔子廟に着いた時には辺りは少し暗くなっていましたが、ライトアップにより雰囲気も良く、学生も圧倒されたようでした。ちょうどその日、台北で花火大会も行われて、帰り際に花火も垣間見ることが出来ました。

語学講座、観光、文化体験が二週間に詰まっていて、期間としては短い研修ではありましたが、非常に濃密な時間を過ごせました。

研修の最後にはそれぞれの授業の担当教員から修了証書を授与されました。

2 週間はあっという間でしたが、毎日一緒に朝から晩まで共に時間を過ごして、国籍関係なくすっかり仲良くなった参加者の皆さんは、修了式の時には別れの時を実感し始めてしんみり泣いている様子も見えました。

ちょうど帰国の数日前から台風が近づいており、直撃する予報まで出ていたので、飛行機も飛べないのでは、とかなり心配していたのですが、毎日予報を見るたびに台湾を避けるように台風が逸れていってくれましたので、特に遅れや欠航もなく、無事予定通り帰国することが出来ました。空港まで開南大学の学生さんたちがお見送りに来てくださって、最後まで温かく優しくしていただきました。

最後になりますが、今回の海外研修実施にあたりまして、サポートいただきました全ての皆様に改めまして感謝申し上げます。今後も引き続き、学生が自分の将来に対する可能性・ヒントをより多く見つける機会を得ることが出来るよう、自分自身、精一杯サポートしてまいります。有難うございました。